



2016年度第2四半期 決算説明会資料

財務責任者 見浪 直博

※本資料に含まれる数値は各事業の業績を分かりやすく説明するために使用しており、財務諸表の数値と異なる場合があります。
※各用語の定義については、Slide3に明記しております。

将来に関する記述等についてのご注意

本資料には、当社又は当社グループの業績に関連して将来に関する記述を含んでおります。かかる将来に関する記述は、「考えています」「見込んでいます」「予期しています」「予想しています」「予見しています」「計画」「戦略」「可能性」等の語句や、将来の事業活動、業績、事象又は条件を表す同様の語句を含むことがあります。将来に関する記述は、現在入手できる情報に基づく経営者の判断、予測、期待、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。これらの記述ないし事実又は前提（仮定）については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もなく、当社としてその実現を約束する趣旨のものでもありません。また、かかる将来に関する記述は、さまざまなリスクや不確実性に晒されており、実際の業績は、将来に関する記述における見込みと大きく異なる場合があります。その内、現時点で想定される主なものとして、以下のような事項を挙げることができます（なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません）。

- (1) 喫煙に関する健康上の懸念の増大
- (2) たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更（増税、たばこ製品の販売、国産葉たばこの買入れ義務、包装、ラベル、マーケティング及び使用に関する政府の規制等）、喫煙に関する民間規制及び政府による調査の影響等
- (3) 国内外の訴訟の動向
- (4) 国内たばこ事業、海外たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
- (5) 国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
- (6) 市場における他社との競争激化、銘柄嗜好の変化及び需要の減少
- (7) 買収やビジネスの多角化に伴う影響
- (8) 国内外の経済状況
- (9) 為替変動及び原材料費の変動
- (10) 自然災害及び不測の事態等

<用語の定義>

調整後営業利益：	調整後営業利益 = 営業利益 + 買収に伴い生じた無形資産に係る償却費 + 調整項目（収益及び費用）* *調整項目（収益及び費用）= のれんの減損損失 ± リストラクチャリング収益及び費用等
四半期利益：	親会社の所有者に帰属する四半期利益
総販売数量： (海外たばこ事業)	水たばこ/Emerging Products/製造受託を除き、Fine Cut/Cigar/Pipe/Snus込み
自社たばこ製品売上収益： (海外たばこ事業)	物流事業、製造受託等を除き、水たばこ、Emerging Productsの売上込み
販売数量： (国内たばこ事業)	国内免税販売/中国事業/Emerging Productsを含まない
自社たばこ製品売上収益： (国内たばこ事業)	輸入たばこ配送手数料収益等を除き、国内免税販売/中国事業/Ploom TECHのデバイス・カプセルを含むEmerging Productsの売上込み

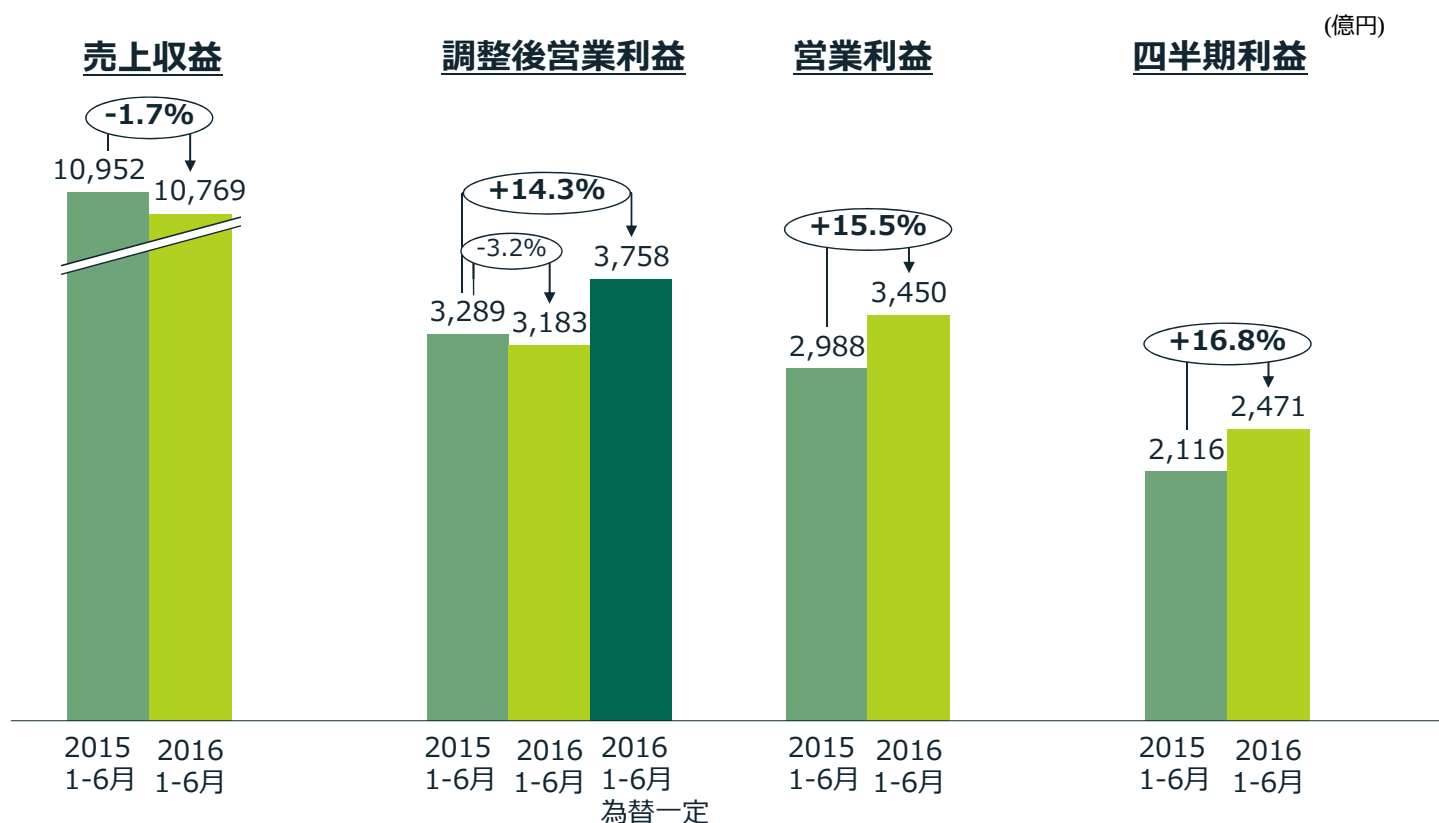
(このスライドは空白です)

全社実績 2016年1-6月

*本プレゼンテーションにおける比較情報としての2015年度実績は、継続事業ベースにてお示しております
(継続事業・非継続事業の分類に関する詳細は決算補足資料1ページをご参照ください)

全社実績

堅調なビジネスパフォーマンスにより、為替一定で着実な利益成長



事業別実績 2016年1-6月

海外たばこ事業実績

好調なビジネスモメンタムと力強いプライシングが 為替一定ベースでの利益成長を牽引

(億本,百万US\$)

	2015年 1-6月	2016年 1-6月	増減率
総販売数量	1,912	1,997	+4.4%
GFB販売数量	1,319	1,407	+6.7%
為替一定ベース			
自社たばこ製品売上収益	5,061	5,700	+12.6%
調整後営業利益	1,770	2,083	+17.7%
財務報告ベース			
自社たばこ製品売上収益	5,061	5,239	+3.5%
調整後営業利益	1,770	1,729	-2.3%
円ベース (億円)			
自社たばこ製品売上収益	6,092	5,841	-4.1%
調整後営業利益	2,129	1,931	-9.3%

クラスター別実績

	<u>対前年同期 増減率</u>	<u>2016年 1-3月</u>	<u>2016年 4-6月</u>	<u>2016年 1-6月</u>
South & West Europe				
総販売数量		12.2%	4.0%	7.9%
GFB販売数量		14.3%	6.6%	10.2%
自社たばこ製品売上収益（為替一定ベース）		14.8%	5.6%	9.9%
North & Central Europe				
総販売数量		4.5%	4.5%	4.5%
GFB販売数量		15.6%	14.0%	14.8%
自社たばこ製品売上収益（為替一定ベース）		6.4%	8.7%	7.5%

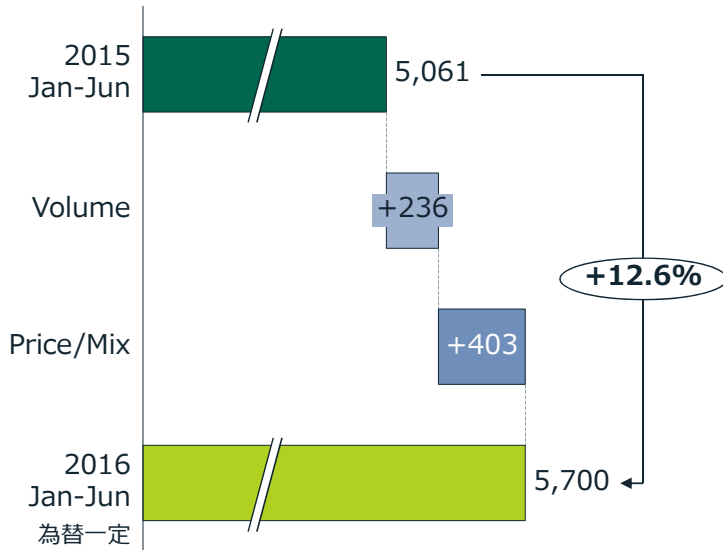
クラスター別実績

	<u>対前年同期 増減率</u>	<u>2016年 1-3月</u>	<u>2016年 4-6月</u>	<u>2016年 1-6月</u>
CIS+				
総販売数量		-0.6%	-7.2%	-4.4%
GFB販売数量		3.1%	-6.0%	-2.1%
自社たばこ製品売上収益（為替一定ベース）		13.9%	5.9%	9.1%
Rest-of-the-World				
総販売数量		13.9%	13.0%	13.4%
GFB販売数量		16.3%	12.3%	14.2%
自社たばこ製品売上収益（為替一定ベース）		18.3%	22.8%	20.6%

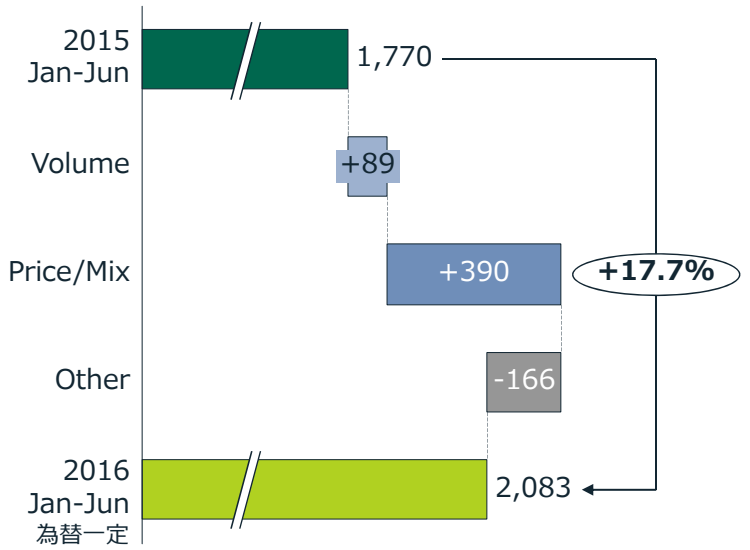
トップライン伸長により力強い利益成長、投資も積極的に拡大

(百万US\$/為替一定)

自社たばこ製品売上収益



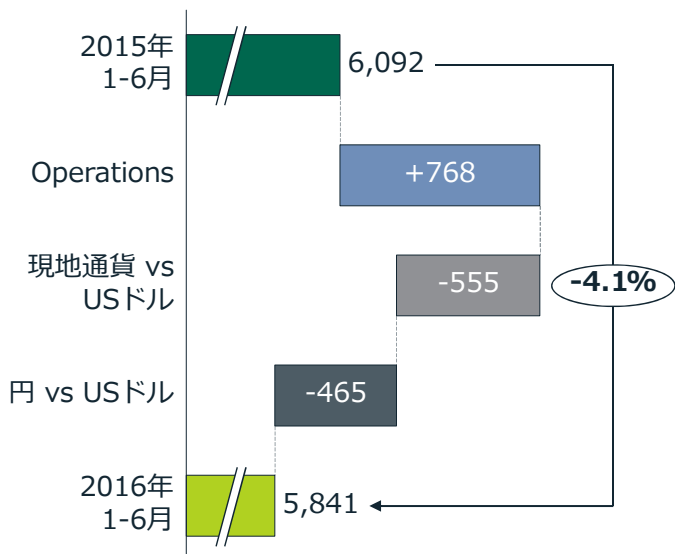
調整後営業利益



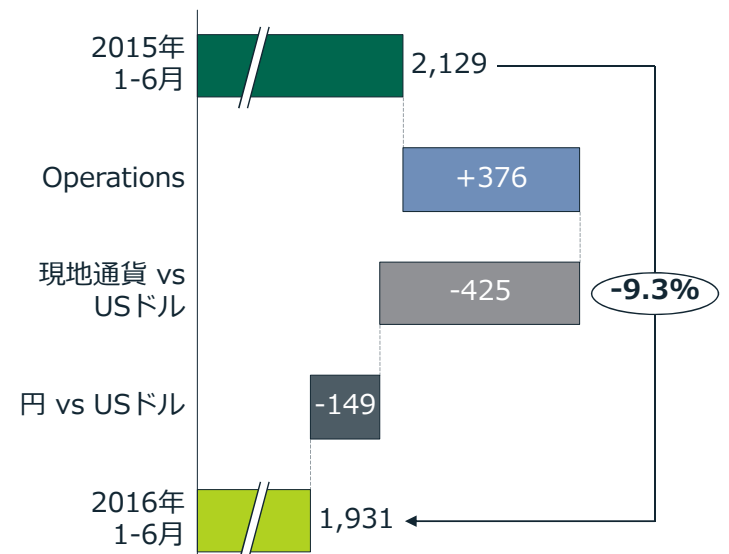
為替は引き続き不利に作用

(億円)

自社たばこ製品売上収益



調整後営業利益



厳しい事業環境の中、着実なトップライン、利益成長を確認

(億本, 億円)

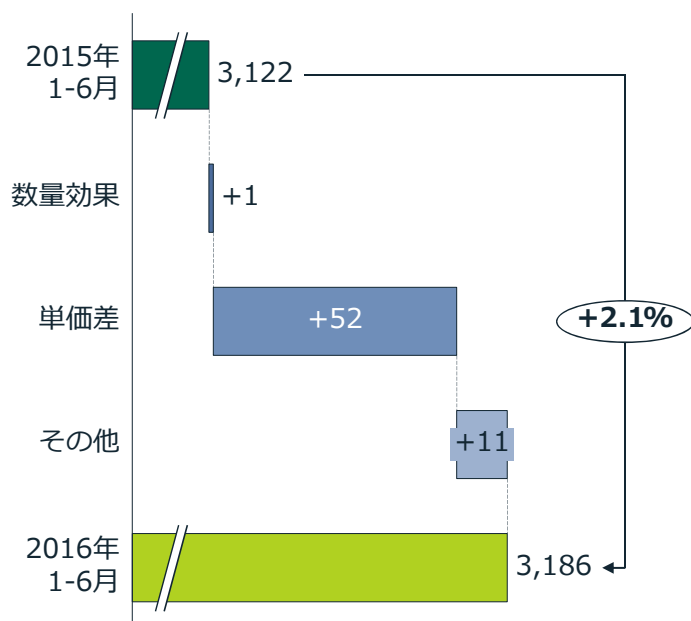
	2015年 1-6月	2016年 1-6月	増減率/ 増減%pt
JT販売数量	531	527	-0.7%
JTシェア	60.0%	61.1%	+1.2%pt
MEVIUSシェア	32.2%	31.5%	-0.7%pt
自社たばこ製品売上収益	3,122	3,186	+2.1%
調整後営業利益	1,258	1,296	+3.0%

※ JT販売数量：国内免税販売/中国事業/Emerging Productsを除く
 なお、自社たばこ製品売上収益にはPloom TECHのデバイス・カプセルの売上を含む

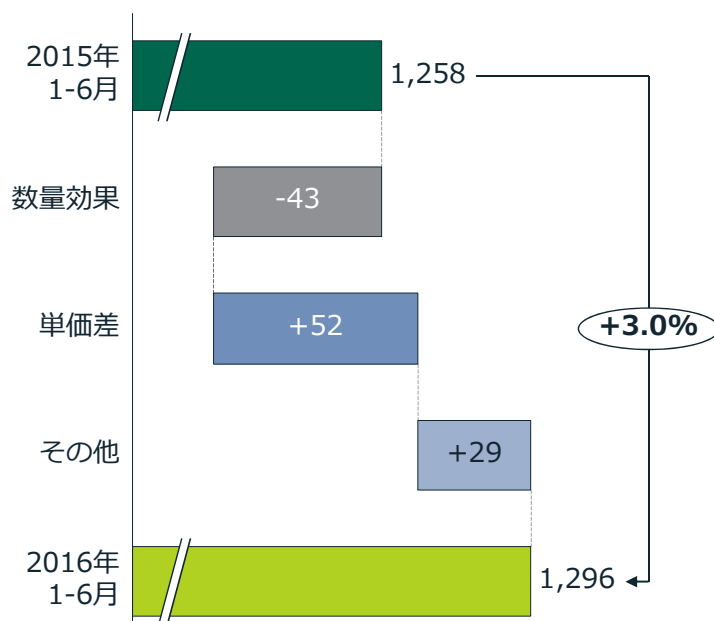
買収・単価効果が着実に発現し、トップライン、利益成長に寄与

(億円)

自社たばこ製品売上収益



調整後営業利益



医薬・加工食品事業ともに着実な増収増益

(億円)

	<u>2015年</u> 1-6月	<u>2016年</u> 1-6月	<u>増減額</u>
医薬事業			
売上収益	348	403	+55
調整後営業利益	-21	28	+49
加工食品事業			
売上収益	795	799	+4
調整後営業利益	11	31	+20

(このスライドは空白です)

2016年度修正見込

全社業績見込

海外たばこ事業の好調なパフォーマンスを反映し、利益を上方修正

(億円)

	当初見込	修正見込	対当初見込 増減	対前年 増減率
調整後営業利益 (為替一定ベース)	6,730	6,800	+70	+8.5%
売上収益	22,000	21,200	-800	-5.9%
調整後営業利益	5,620	5,690	+70	-9.2%
営業利益	5,660	5,720	+60	+1.2%
当期利益	3,990	4,090	+100	+2.6%

持続的成長に向け投資を拡大しつつ、 為替一定で11%超の利益成長を目指す

(億本,百万US\$)

	当初見込	修正見込	対当初見込 増減	対前年 増減率
総販売数量	3,940	4,020	+80	+2.0%
GFB販売数量	2,790	2,850	+60	+4.2%
為替一定ベース				
自社たばこ製品売上収益	10,900	11,180	+280	+8.1%
調整後営業利益	3,550	3,630	+80	+11.4%
財務報告ベース				
自社たばこ製品売上収益	10,000	10,580	+580	+2.3%
調整後営業利益	2,700	3,080	+380	-5.4%
円ベース (億円)				
自社たばこ製品売上収益	11,800	11,180	-620	-10.7%
調整後営業利益	3,190	3,280	+90	-16.8%

販売数量を下方修正するものの、調整後営業利益の見込は変更なし

(億本, 億円)

	当初見込	修正見込	対当初見込 増減	対前年 増減率
JT販売数量	1,080	1,070	-10	-2.1%
自社たばこ製品売上収益	6,590	6,550	-40	+2.0%
調整後営業利益	2,610	2,610	-	+2.7%

※ JT販売数量：国内免税販売/中国事業/Emerging Productsを除く
なお、自社たばこ製品売上収益にはPloom TECHのデバイス・カプセルの売上を含む

T-Vaporカテゴリー：JTGの考え方

■ T-Vaporカテゴリーの戦略上の位置付け

- ▶ お客様の多様なニーズ（におい、健康懸念等）に応える上で必須のカテゴリーの一つ
- ▶ 日本における市場の本格的立ち上がりを確認
- ▶ 数年内にこのカテゴリーでもマーケットリーダーを目指す

■ Ploom TECH

- ▶ 紙巻たばこでは捉え切れない様々なニーズを満たす可能性を秘めた製品
 - －福岡市およびオンラインでの反応に確かな手ごたえ
- ▶ 早期に供給問題を解消し、販売地域の段階的拡大および海外展開を目指す
 - －数百億円規模の設備投資を意思決定済み
- ▶ 独自のテクノロジーと魅力
 - －水蒸気蒸留からヒントを得た日本発のイノベーション
 - －火を使わないため、燃焼に伴う煙のにおい・灰が出ない
 - －たばこ葉を直接加熱しない独自技術により、雑味の無い、クリアなたばこの味わい

医薬・加工食品事業見込

**医薬は為替が逆風となるものの、堅調な事業パフォーマンスを確認
加工食品は主にコスト低減、為替のポジティブ影響により利益を上方修正**

(億円)

	当初見込	修正見込	対当初見込 増減
医薬事業			
売上収益	850	820	-30
調整後営業利益	70	40	-30
加工食品事業			
売上収益	1,720	1,690	-30
調整後営業利益	30	45	+15

終わりに

Closing Remarks

**2016年上期は堅調なパフォーマンスを確認
不透明な事業環境においても、持続的成長を目指す**

- 堅調なパフォーマンスを受け、為替一定調整後営業利益を上方修正

- 質の高いトップライン成長を通じた持続的利益成長を目指し
事業投資を強化
 - ✓ 地理的拡大の更なる進展
 - ✓ ブランドエクイティの向上
 - ✓ Emerging Products分野への取り組み強化

- 配当金は当初予想128円から変更なし

